

感想

自分の経験をもとに、当初の意気込みが少しずつ薄れてしまい、最終的にこなすだけになってしまう「手段の目的化」という話や、当時の部活の監督に言われたことから、苦手なことを訓練するだけでなく、長所を伸ばすことで、自分の個性を活かすことがとても大切だという話について、例もあってすごく納得できたしためになった。また、コンクリートの研究についてのお話では、鉄筋コンクリートができた理由や、何故それが丈夫なのか初めて知った。東北地方の震災による被害について想定外という言葉がキーにして、今までと最近の建造物の造られ方の違いについてよく分かった。規模があまり大きくない地震でも一部壊れるように設計して、それ以上でも被害は一定になる仕組みにはすごく驚いた。

今回の講演会は普段の講演会（何か先端技術について）とは違い、自分の今後に直接かわるものだった。先生の話というよりは先輩からのアドバイスのようだった。とても自分の役に立つ言葉ばかりだった。特に「手段の目的化」と「成果は質と量のかけ算」は身にしみた。最近の自分もある時間勉強することが目的になっていて、内容がともなっていないかったなあと話を聞いて感じた。また、時間が足りないとばかり思っていて、質を向上させる意識が低かったと思った。上の二つの言葉は勉強においてだけでなく、スポーツや普段の生活においても言える言葉であると思う。心のどこかに意識して今後過ごしていきたいともった。また、コンクリートの話も少しの時間ではあったが、とても興味深かった。もっと聞いてみたいと思った。

とても話が聞きやすく最初から最後まで楽しかったです。私も本が好きなので司馬さんの本の話とかもしたいなと思いながら聞いていました。普段東大の先生でこんな風に話をする機会はないのでいい経験になりました。個人的にはコンクリートに興味を持った理由を聞いた時に先生がすごく楽しそうに語ってくださったのが印象的でした。今までにもたくさん先生の先生方のお話を聞かせていただきましたが、石田先生は特に、研究が好きというのが良く分かり、そんな風に興味を持てることが私も見つけられたらいいなと思いました。あと学問は面白いという言葉もとても心に残りました。私も様々な教科に対してそういう気持ちで向き合えたらいいなと思いました。

石田さんは自分の研究の話になったとたん、とても楽しそうに話していた。長年研究しているからもちろんであるが、社会基盤（コンクリート設計）がよっぽど好きなんだなあと考えた。自分が興味・関心を大きく寄せられることを仕事にすることができるなんて手本中の手本だ。そんな石田さんが言っていた「読書をするべき」という言葉は共感することができた。左のページにも書いたが読書から学ぶことはたくさんある。自分も暇な時間に

だらだらしている余裕があったら積極的に読書に取り組みたい。また、大切なこととして、様々な言葉をいただいた。一つ一つの言葉に重みがあって、言うのは簡単だが、実行し続けるのには強い意志が必要な内容だと思った。話は変わるが、明日で自分のセンター試験まであと一年になる。部活を言い訳にせず、効率の良い勉強を心がけていきたい。そして長所を何か作りたいと思う。自信を持てることができるには努力が不可欠だ。今日の講演会で危機感が増したのと同時に、モチベーションも上がった。有言実行できるようにしたい。

今まで都留高校出身でこういった講演会をしてくれたのはトヨタの人が印象が強くとても勉強になったので今回も面白かったし、ちょくちょくこちら側にも話を振ってくれたりなど分かりやすくしてもらったと思う。コンクリや鉄筋コンクリートなど 3.11 の地震によって一時期話題になったりしたけれど、詳しく聞くと奥深いものがあるんだなあとと思った。個人的に一番好きな建物は柱と骨組みだけでできている高速等の立体交差路が良い。こういった機会はもう少ないので残りの講演にも集中して取り組みたい。

今、まさに手段を目的化している状態だった。ただ、時間だけにこだわってこなすだけの日々で、最近のスランプ状態もこれが原因なのかなと思った。本当の目的、本質は学力を上げて、自分の学びたいことを思いっきり学ぶことだと思っているので、もう一度、見つめ直してはやくスランプ状態から抜け出せるようにしたい。成果は量と質の掛け算という言葉聞いて、勉強の質について、時間があつた時（できるだけはやめに）高める方法などについて考えようと思った。現代の社会問題は他人事のように流してしまうことが多かったが、今回の講義で自分の問題としてとらえ自分の頭で考えていかないといけないし、そうしなければ道が開けないと思った。勉強は(本来)面白いということは去年ぐらいに感じたことがあったので、これからも楽しんで勉強ができればベストかなと思う。今回の講演会でたくさんこれから生きて行くなかでタメになったことを聞いたので、これをムダにせずに生かしていきたい。

私は今までただひたすらに勉強し、課題や自主学をやってきました。今日、勉強するときは「目的」を持つことが大切だと聞いてその方が楽しく勉強できるし、やる気も出てくると思ったので、今日から目標を立てて学習しようと思いました。とにかく勉強しておけば将来の道は大幅に広がるので、あきらめずに上を目指して頑張ろうと思います。石田先生が教えてくださった本も一度読んでみたいです。高校に入ってから勉強するのがだるくて学校に行くのが嫌になることもあるけど、勉強の仕方を工夫して積極的に机に向かえるようになりたいです。高校の勉強は初歩のトレーニング！これからのためだと思ってやります！量と質を極めて成績向上を目指していきます。自分のこれからの人生の決め方の参考になったので楽しかったです。

とても楽しい講演会だった。都留の先輩にこんなにすごい先輩がいると思うととても誇らしかつた。努力を惜しまなければ、目標がとくに決まっていなくても良い結果につながるので、自分も頑張っていきたい。あまり東大の人の話なんて聞くことができないので本当に貴重な時間をすごすことができた。私も夏休の宿泊学習会に参加して、自信を持ったにもかかわらず、日々の忙しさで忘れていた。だがもう一度あの時のことを思い出して、積極的に自主学習にとりくんでいきたいと思った。

講演の内容を参考にして自分の学習内容を変えたいと思った。成果は量と質のかけ算という言葉がとても印象に残った。本はたくさん読もうかなと思った。自分の限られている時間を有効に使って、しっかりと理解したうえで勉強をしたいと思った。どんな人でもたくさん勉強する時はあった人だなと思った。自分のためになる勉強の仕方やコツをつかみたいと思った。私はまだ知識が乏しいと思ったので、いろんなことにもっと興味を持って取り組んでいきたいと思った。たくさん知識を身につけていろんな視点で物事を見られるような人になりたい。

私も工学部に入りたいと思っているので、とても良いお話でした。理系の教授をなさっているのに、本を読むのが好きだとか歴史が好きだとか、さまざまな分野に目を向けているのはとても素晴らしいなと思いました。吹奏楽もやっているということで自分と重ねるところも多く、恩師からの教えの言葉は参考にしたいと思うものが多くありました。教えてくださった「もし 20 代の時にこの本に出会っていたら」なども読んでみて、進路選択の参考にしていきたいです。

勉強の仕方についてあたらしいことを知れた。量と質の掛け算が長所をのぼす、自らに限界を設けない。などの言葉が心に残った。私はずっと受験勉強が大事だと思っていたけれど、それ自体が目的ではなく、高校時代の勉強を通じて、一生続く勉強の仕方を学ぶ。初歩のトレーニングとして非常に大事と知って驚いた。理系のほうの人でも本を読むということにも驚いた。勉強をするのに、「目的」と「手段」が大事だということを知った。ただ勉強をすればいいと思っていたので、この考えを聞いて、自分の勉強の仕方を変えてみようと思った。

私は「手段の目的化」という言葉にとっても共感した。目標を決めそのために何をするかを決めると目標のためでなく達成するためにする事にとらわれてしまう。だから色々成功しなかったんだなと改めて分かった。やはり 1 度高校生を経験している大人の話はとてもためになるし、学ぶことがたくさんあった。「もし 20 代のときにこの本に出会っていたら」という本の話聞いて、読んでみたいなと思った。自分が 20 代になった時に読んで人生に

役立たせたいと思った。高校で部活をしていなかったことを後悔したと言っていたので、私も後悔しないように一生懸命取り組もうと思った。そして、勉強もしっかりして文武両道を実現できるようがんばりたい。その過程で「手段の目的化」にならないように注意していきたい。

難しい内容だと思うがとても分かりやすかった。石田先生がトランペットをやっていたのは驚いた。やっぱり山北は昔からすごかった。ってすごい。今の自分は質も足りてないがそもそも量も少ないと思うから、これからしっかり取り組みたい。工学というとやっぱり幅広いらしいが物だけではなく物を作ること。自分のできないことに目がいきがちでそっちをのぼそうとするけどそれよりできるところをのぼした方がいいというのはこれからやっていこうと思う。

いつもとは少し違う感じの講義で、どんなものか興味を持って聞けました。今の自分は先生と比較してみて、自分の勉強法がいかに効率が悪かったか明確になりました。“成果＝質×量”という式には本当に心からなっとくできました。私の場合、量（時間）をやっても、集中できないので $0 = \text{量} \times \text{質}(0)$ となります。これからは先生から教えてもらった勉強法を参考に中身の濃い勉強をしていきたいです。私はついさいきんまでこの先真っ暗で楽しいことなんかないとマイナスに考えていましたが、前向きな心持になれた気がします。また、機会があれば先生も話をもう一度聞きたいです。吹奏楽部の話もとくに聞きたいです。今日はありがとうございました。

自分と同じ都留高の先輩で、東大で准教授をされていると聞き、すごいなと思った。毎日、一日 5 時間という時間を勉強に費やしていたということは相当努力したんだと感じた。自分は普段あまり本を読んだりしないけど少し読んでみようと思った。また、石田先生が講義で教えてくれた言葉は納得することが多く特に「成果は質と量のかけ算」ということは心に残った。何に関しても、時間が 0 だったら意味もないし、質が 0 でも意味はない。この言葉をもとに、これから勉強に部活も頑張ろうと思った。

都留高の卒業生であり、あまりむずかしくない内容だったため積極的に聞いた。土木と聞くと、あまり興味がわからないが、今日の話聞いて、少し関心を持てた。「部活は一生懸命に」と言っていたが、私は今休部中なので参考になった。読書は好きだが、狭いジャンルしか読んでことがないので、はば広く読んでみたいと思った。「長所を伸ばす」とか「自らに限界を設けない」など参考になる言葉がたくさん聴けて良かった。私は土木工学にはあまり興味がなかったが、社会基盤(多くの人々の安全で豊かで快適な生活を支える基盤)をつくる(?)仕事だという話が聴け、少し興味を持てた。『手段の目的化』にならないように気を付けながら、これから過ごしていきたいと思う。

研究や大学の話もうれしいけど、それよりも色々な人の高校時代の話を知りたいと思っていましたので、今回の公演が聞けて良かった。「手段と目的をしっかりと区別すること」「成果は質と量のかけ算」という言葉が印象に残った。目的を達成しようとするのも大変なのに、それを追いつづけると質がおちていってダラダラしてしまうということが言えるのは学習のレベルが上の人だけだなと思った。自分は目標を立てて、それを達成するだけのところにいるが、もしかしたらそれによって勉強の質が少なからず落ちていたのかもしれない。もう一度自分の学習の量と質を見なおしてみようと思う。紹介された「ローマ人の物語」も借りて読んでいる途中！！本を読む時間をきちんととって、充実した高校生活を送りたいと思った。

今日の講演会は今までになかった講師の先生との親しみを感じました。石田先生の都留高校生時代の話を知ったり、今私達がやっておくべきことなど普段聞けないことをたくさん聞けてとても充実した時間でした。勉強も量をたくさんこなすことが目的ではなく、質を高めるということも大切だとわかりました。受験勉強は大事だけど、それ自体が目的ではないという言葉にぐっときました。高校受験の時、私はそれにどうやったら受かるかということしか考えていなくて、自分は将来どうしたいのかということを考えていませんでした。今日の講演会を通じて私は将来何をやりたいのか、何について詳しく知りたいのかについてこれから考えていきたいです。また、今日の講演を聞いていて何事も経験が大切だということだと分かったので、何事にも積極的にチャレンジしていきたいです。

都留高の出身ということもあり、何となく親しみをもって講演を聞くことができた。主に講師の方の高校時代や現在の職についてなどの話を聞いたが、どれも今の自分に近いものがあり、関心が持てた。中にはとても共感できるものもあり、とてもこれからの参考になった。今日お話ししていただいたものを忘れずにこれからの人生に役立てていきたいと思った。

東京大学の准教授だからもっとピリピリしたムードが漂うのかと思ったが、とてもおもしろい人で集中する所としっかり集中できてよかった。これからの勉強するモチベーションアップにつながってとても良かった。日々に自分の中でも妥協点などがこの講演を聞いて切実に分かった。「目的」と「手段」の区別が自分にはついていないと分かったので、これからは「目的」と「手段」の区別をはっきりつけて成績アップにつながれば良いと思った。

東大准教授である石田先生の高1の頃の生活を聞けてとてもためになった。僕もまだ将来何をするべきが全く決まっていなくて早く決まっていなくて早く決めなければいけないと思った。本はあまり読まない方なのでこれからは色々な本を読んでいきたい。研究室内

の公用語は英語だと聞いたのでこれから英語を重点的にやっていかなければならない。成果は質と量の掛け算であると感じ、まったくその通りだと思った。僕は質の良いベンキョウがなかなかうまくできないのでそのことを考えながら成果を出していきたい。「手段の目的化」というのは、僕もはまりがちなので気を付けたい。「もの」の本質をとらえることは社会に出てからとても重要だと思うので身につけられるように頑張る。「もし 20 代のころにこの本に出会っていたら」という本をおススメされたのでぜひ読んでみたいと思う。

今まで、いろいろな方々の話を聞いてきたが、石田さんの話は非常に人間的だなと思った。人間的というのは、今まで東大教授や准教授は、特別な天才たちだという誤解が少なからずあったと思う。でも、石田さんは、天才とかではなく、普通の方で、ただただ自分をよく見つめて、前向きにとらえ、活動的で努力家なのだなと思った。本質をとらえる。「目的」と「手段」を明確に区別する。成果は質と量の掛け算。長所をのばす。人の言うことを鵜呑みにしない。ということは非常に共感できる。また、石田先生の話を知りたいと思う。

土木工学についての専門的な話はなかったが、先生の経験からくる分かりやすいアドバイスや教訓はとても参考になった。特に、「手段の目的化」の話では、自分も常に意識していることだったので、たいへん共感することができた。また、「土木工学」というものが実は様々な知識を必要とする総合的な学問であるというのはこの講演で初めて知った。社会基盤を構築して文明・文化の発展を支えるのは、確かにとても重要なことであると納得した。未来を見据えて努力しなければならない高校生にとって、非常に価値のある話を聞くことができたと思う。

東大の准教授の高校の時の考え方を聞くことができて今の生活の良きさんこうになった。高校の勉強は基本的なことだてきなことを聞いた時は大学って大変なところなんだな。これからは努力し続けなきゃいけないのかという気持ちと同時に、大学ってせんもん的なことをとことん学べて自分のやりたいことが大学でできたら本当におもしろい所だというすごくわくわくした気持ちが入り交じった気持ちになった。受験まで残り 2 年だ。目標を見失わずに全力で頑張ろうと思った。

東京大学の方はもっと特殊な人だと思っていました。なんというか普通に近所に住んでそうなおじさんでした。話すことも親近感が湧くような感じでおもしろくわかりやすかったです。でも、話していたことはとてもしっかりしていました。彼のすごいところは「手段の目的化」は非効率だ、ということです。勉強を 1 日 5 時間やることはかまわないのですが、「5 時間やる」ということに満足しているだけではダメなのです。（石田先生はこのことを高校生の時に気付いたというのに驚きました。）僕に足りないことはそれだと思います。

僕の足りなかったのはそこだったと思います。満足の度合いを低めすぎだったのです。そんなことに気付きました。この講演を受けてよかったです。

今日この講演を聞いて、改めて自分の弱点というか私生活での学習勉強をどうすればいいのか、どういう点に気を付ければいいのか知ることができました。例えば、「時間」5時間行うということが目的になってしまっていて、その勉強がしっかりできていないのに5時間やったからよいという感じになってはいけないということを改めてこの講演で本当にそうだと思いました。他にも、 $\text{成果} = \text{量} \times \text{質}$ など量が0だとひつぜん的に、質も0、量が5でも質が0だと0だということも教えていただきました。この講演は、あまり、化学などの面の学習はありませんでしたが、たった2時間の間でいろいろなものを吸収することができました。勉強や部活、私生活にと、色々といかすことができることばかりでとても人間的成長できたと思います。これからの生活などにたくさんいかせていければよいと思うし、いかしていかなければならないです。

今回の講演会では話を聞き、自分の今後の進路の参考にする事ができました。東京大学に合格することができた人なので高校の時から明確な意志を持っていて勉強の量も質もすごかっただろうなと思ったが話を聞くとそうではなかったんだなと思いました。しかし、それでも量はとても多かったので、やる気を持つことは大事だなと思いました。この講演の話は自分にも身近な事なので、いつも講演よりもさらに参考にしやすいと思いました。2年後には進路を決定しなければならない時に今日聞いた事を思い出せたいいなと思いました。

私は今回の公演を受けて、普段の講演で学ぶようなこととは違ったことを学びました。それは勉強を行うにあたって、どうすれば良いかということです。今日のことを受け、自分の勉強が勉強する内容より、勉強時間を重視してしまっていた傾向がありました。私は「量」×「質」＝「成果」という言葉にも納得しました。自分の勉強方法がどの程度なのか、それを今回の公演を通して、客観的に見れたような気がしました。今後、勉強方法は効率と量を考えて行おうと決意しました。

勉強合宿をきっかけに1日5時間勉強するようになったと聞いて、自分もそれに参加したけど、全くその気になれなかった自分が情けなく思った。思い返せば、きっかけのようなものはたくさんあったと思うが、やはりそういったものを生かしていける人間になりたいと思った。後半は講師の方の研究を聞いて、工学部でも土木に興味はなかったけど、とても身近な生活にかかわる研究でとても面白かった。

石田先生を見習おうと思いました。それは勉強をするところだけでなく、考え方とか生き

方などについても尊敬できました。また長所を伸ばせというアドバイスも驚きました。普通ならできないことを克服できるようにすることが普通だと思います。成果＝質×量という式も深く考えさせられました。部活などで時間がないので、これからは質を大きくするようにします。また、これから先の人生が楽しみになると思うのと同時に、今の高校生活が1秒1秒本当に大切なものなんだなあと思いました。1日も無駄にしないで、様々なことを吸収していこうと思います。

今日の石田の話聞きながら、改めて自分の目標を確認することができたのでよかった。最近自分は勉強に対して少し考え方が変わっていてやりたくなっていた。多分自分のためだと思って勉強することができていなかったからだと思う。今日の講義で自分の目標を思い出す。今日の石田さんから聞いたことを胸に刻みつけて努力していきたいと思いました。

今までの講演とは全く違い、自分の実体験を話してくれた。技術的なことではなく、今、僕たちに必要なことを話してくれた気がして、自らの失敗談やこれをしてよかったなど、僕たちが悩んでいることや迷っていることなどを少しでも解決できたような気がした。そして学んだことが何事にも興味を持つことは大事であり、そこで僕が思ったことは例えば色んなことをかじっていたら、ある道でつまづいたときに別のことも考えることができるからだ。今、勉強、勉強で忙しいと思うけど、色んな事に挑戦してこれからの人生を充実させたいと思った。

今日の講演の中で特に印象に残ったのは、勉強などで「手段の目的化」についての話だった。僕はある程度の勉強時間は確保しているつもりだが、最近成績が伸び悩んでいる。この講演を聴いて、その原因が「長い時間勉強すること」が目的になっていることだとはっきりと自覚できた。これからは、量×質の質を向上させていきたい。また「土木」という言葉を英語で表すと「文明を作ること」となり、その内容も日本語の文字で受ける地味な印象ではない、ということになり驚いた。この時、名前とか印象で物事を即決するのではなく、その内容までしっかりと調べてから決めることも大事だと考えさせられた。最後に話した頂いた想定内の地震への態勢を完璧にすることより、想定外の地震への耐性を優先するという今の耐震設計の考え方に驚いた。

都留高校卒業生の方で東京大学の准教授をやっている人がいるのは、東京大学を少し身近に感じられた。石田さんは将来のビジョンがどのようなものになるか全く想像ができていなかったとおっしゃっていたが、自分は今を生きるのに精いっぱい考えようともしていないと思った。高校二年生にもなり、一年後の明日にはセンター試験もあるのでもっと自覚をする必要があると思った。

東大卒業生の話が聞けて良かった。僕は成果うんぬんの前に量が圧倒的に足りないので、「受け身による慣習化」から始めたいと思う。また、石田線の心がけには共感できる点がたくさんあった。僕はよく「自分に限界を設け」てしまうので、自分の可能性を信じてこれからがんばりたい。

最近は自分も「～時間勉強する」というように「手段の目的化」の傾向があるということが感じる事ができた。勉強は量も質も必要だけど質もそれなりに大切ということがわかったのでこれから自分もそういったこと意識してとり組んでいきたいと思った。今も少しは本を読む方だと思うのでこれからも本を読むことは続けていければいいと思う。また違うジャンルにも挑戦してみたいと思う。心がけることの中に勉強は本来面白いものとあったけど、自分はまだその面白さを見つけられていないと思うので、もっと勉強してその面白みを見つけられるようにしたいと思う。

「手段の目的化」という言葉はかなり心に響く言葉だった。冬休みの勉強は課題を終わらすという意識が強かった気がする。勉強時間はしっかり確保できていると思うので、質をもっと良くしていきたい。今回の講演で自分の勉強の仕方について良く考えさせられた。然りと勉強して今後に活かしていきたい。

効果的な勉強法というよりは、勉強の本質の一部聞けたような気がした。石田先生は部活に夢中になっていたみたいなので、自分にもきっとできることがあるはず。

今日は東大の准教授の石田先生に講義をしていただいた。まず、1日5時間、しかもそれを高1の夏から勉強していたということに驚いた。だからこそ東大へ行けたのだと納得した。そんな人でも大学の勉強が分からないということはやっぱり大学は高校とはレベルが全く違うのだろう。今も将来したいことが見つかってない私は、今回の講義で多くのことを考えさせられた。そして反省もした。今一番やりたいことはできそうもないし、勉強も全く頑張っていなかった私はどうなるのか。とりあえず今年は受験勉強を頑張ろうと思った。教授を見習って。

東京大学に行った石田さんは1年生の頃から毎日の勉強の習慣がつけられていました。現役で難関校に行くには今すぐにも勉強をやり始める必要がある。新あき期間を感じました。でも、危機感を感じても実際に行動に移すことができないのが僕です。家に帰るといつも夕食を食べてテレビを見て寝るみたいなかんじで日常に戻ってしまいます。この前配られた青い学習記録の紙にはみんなが受験勉強を始めるといようなことが書いてありました。一人だけ変わらないままではいけないと思って、毎日少しでも勉強する時間を作れるように頑張っています。150時間は到達できるかは正直分かりませんが、これをきっかけ

に勉強する習慣を身につけたいと思います。

東大の准教授の先生が来てくれると知って、それなりの高度な内容だと思ったけど、石田先生の高校時代の体験とかいろいろな話を聞くことができた。僕たちに伝えたいことはどれも正しいことだと思うし、これからの勉強週間の確立をしていくためになった。また、学部の中にもさまざまなことが学べると知って、大学に入ってから新しい進路が発見できるので、もしかしたら自分もこの先どんなことができるのか楽しみになったので、新しいことや人との出会いを大切にしていきたいと思った。でもセンターまであと1年しかないとも実感しているので、まずは勉強しないとどうにもならないと思う。

今日はいつもと違った内容の講演会でまた都留高校で今東大の准教授をしている人でとても楽しかった。高校時代の勉強の話を聞き、1日5時間やるということのすごかった。しかし、そこから勉強の質というものを考え、東大に行けたのはすごかった。今の自分を考えてみると質も量もなく、あと1年で受験するという自覚がないと思った。最近やっと習慣がついてきて、今日良いアドバイスを聞き、本質をとらえることや、「手段」と「目的」を区別することなど自分が勉強する上で考えなければならぬものだったと思った。今日の講演会をきっかけに良い方向に進んでいけるようにしたい。

高校時代の思い出から今に至る思い出、経験を聞いてまず、今と昔の都留高校の違いを感じた。理数科があったり、一日10時間の勉強合宿など変わったのだと思った。自分の中で特に印象に残ったのは、勉強の仕方についてだった。今の自分は時間をかなり重視しているが、質もこれからは大切だと知り、これからは量+質の方向にもっていきたいと思っている。

勉強の仕方については、部活に入っていないから、多くの時間でできてうらやましいと思ったが、量×質で成果が成り立つとすれば、忙しくても短時間で極限まで質を高めることが重要だった。長所を伸ばす。野球を例に取っていたが、勉強でも同じ努力をすれば短所よりも長所の方が楽しく伸ばせる。長所を伸ばせば、モチベーションが上がり、短所もがんばれると思った。

都留高校が毎年何人か東大に行く人がいることは知っていたが、実際に本人に会うと何かオーラがあるというか自信に満ちた顔をしているような気がした。やっぱり東大に合格できる人は勉強をものすごくやっているんだなと改めて自覚した。また石田先生の言葉は一つ一つ心にしみ入ってきて、自分の勉強の仕方を考え直したいと思った。石田先生との唯一の共通点は司馬遼太郎等の歴史小説を読むことだったので、これからも読みたい。自らに限界を設けずに頑張りたい。

いつもやっているような難しい講義ではなく、高校での過ごし方など参考になることをきいた。高校時代の話を書いて、自分と勉強の意識が違って石田さんはとても高かった。頑張ろうと思う。長所を伸ばそうと言われた。長所といわれても自分ではよく分からなかった。短所ならすぐに出てくるのに長所を探すのは難しい。「自らの限界を設けない」という言葉は部活でも言えることだと思った。いつも走ってばかりの部活なのできつくても走りきろうと思った。「自己主張しよう」・・・自己主張するのは苦手だ。急にできるようになるものではないので、話し合いの機会があったら積極的に意見交換しようと思った。

先輩から、具体的な経験や今心がけていることなどを知ることができてとてもタメになった。質と量のかけ算したものが成果というのは、確かにそうだった。ぐだぐだとやった3時間よりもきっちりと1時間やった方が絶対身につくと思った。とはいえ、やっぱり最初はぐだぐだでも勉強時間を確立させることなんだろうなと思った。コンクリートの技術のすごさを知った。

東日本大震災という大きな地震でも、電車が1本も脱線しなかったというのはとても大きな功績だと思う。実際コンクリートは道路しかイメージしていなかったもので、強度とかコストとかとかあまり考えたことはなかったけれど、コンクリートはすごい技術なんだなと思った。鉄筋とコンクリート、お互いの良いところを合わせた鉄筋コンクリートはまだまだのびる技術だなと思った。

「目的」と「手段」を明確に区別するということが印象に残りました。今の私は全く「目的」と「手段」が明確にできていません。難しいことのように思えるけれど、「目的」と「手段」を明確に区別できるようになりたいです。私はまだ希望する進路が決まっていなくて、将来自分がどんなことをしているのか全く想像できませんが、目の前のやるべきことややりたいことを見つけ、それを達成できるように頑張っていきたいと思います。また、たくさん本を読んで、視野を広くしたいです。

本当に便利になったことが幸せかなど考えると、技術発達をもたらしたものがどうか。考えることは昔の人も同じように考えていた。だから本を読んで勉強し、感じれば良いと聞いてとても自分の中でしっくりきた。これからどうしたらいいのか分かった気がした。沢山の人が使っているモノを少しでも低コストにする事により大きな影響を与える。

自分は今勉強する習慣がついていないから、今日からにでも始めなければ!と思った。でも「手段の目的化」には注意しようと思う。自分は勉強時間がとても短く、長時間やったと言うだけで満足して、内容はどうなの?と言われると身についているかよく分からない。

そのようなことがあるから、質の方もしっかりと磨かないといけないなと思った。部活で忙しく、勉強時間の確保が難しい分、工夫をして力をつけるようにしたい。今日聞いた心がけていることを、まねできるものはまねしたい。今の時代、地球温暖化、少子高齢化、不況など様々な問題がある。それを解決できるのは、私たちくらいの年齢の人たちだと思う。だから今、高校でしっかり勉強して、大学で新たな発見、研究をして社会に貢献できるような人になりたいなと思った。私は英語が苦手である。だから、授業でも気持ちが沈んでしまう。でも、英語は話すしかないから、積極的に生活に取り入れて、ALT の先生などにも話しかけようと思った。苦手意識だけを持たず、それをどのように向上していくか、ちゃんと考えようと思う。しっかり自分の頭で考えて、情報は参考だけにしようと思った。

卒業生ということもあり、すごく親近感を感じながら聞きました。“手段の目的化”という言葉がすごく心に残りました。今までに経験したことがあるので。一番部活が忙しく時間がなかった時が一番成績が良かったので、時間がなくても短い時間で集中できたからだと思います。“成果は量と質の掛け算”部活との両立を達成するには質をいかに高めるかが重要だと思うので、頑張っていきたいと思いました。とりあえず私は質の前に量がほぼゼロ状態なので、量を増やしたいと思います。貴重な体験を聞けるいい機会でした。

自分がこれから勉強していく上でとても大事なことを教えてもらったと感じた。タメになる言葉をたくさん聞くことができてよかった。自分の進路とはあまり関わりがない分野について学ぶよい機会だと思った。「社会基盤」という分野を細かく知り、自分の日常生活にとっても密接にかかわっているのだと改めて知った。

私はまだ進路が決まっていませんが、今日のお話を聞いてさまざまなことに目を向け広く考えていきたいと思いました。今は考えてもいなかった分野に将来進むこともあるかもしれない、そう考えていろいろな可能性を考えていきたいです。今まで勉強に身が入らず、だらだらしてしまいましたが、今の生活をみつめ、質を考えた勉強の習慣を作れたらいいなと思います、本質が見えるようになるまで頑張りたいです。

始めのほうに言っていた「手段の目的化」というのは、これから受験勉強をやっていくなかで、危ないことだと思った。成果は質と量をかけたもので、どんなに量をやっても質が高くなければ意味がない、というのを聞いて、よくやってしまう“ながら勉強”は本当によくないことと思い、これから気を付けたいと思った。東京大学では始めから～学部に入らなくていいということで、すごく面白いと思った。高校の時に勉強するというのは、これから先学んでいくものの基礎だと思う。受験勉強だから勉強すると考えないで、自分のために勉強していきたい。

東大って聞くと真面目で難しい話だと思っていました。だけど、イメージとは違い、勉強の大切さとかを分かりやすく話してくれたからよかったです。テスト前、勉強してもしてもできないのは、まだまだ質が良くないんだろうと改めて思いました。今年は明日、私たちは来年…！センターを受けるけど今日の話は本当に参考にしていきたいと思いました。私も時間が長ければ長いほど「やった」という感じで、頭には全く入っていないんだと思う。明日の模試はさすがに間に合わないけれど、今日から時間ではなく、何をやったか、自分が満足いくまで勉強したい！2月に今年最後の模試と定試がある。そこで今日話をムダにせず満足のいく結果になれば今日の成果になると思う。

自分の紹介をするとき、高校は駿台甲府、甲府南、都留で迷ったといていた。候補に挙げてる学校からレベル高いと感じた。大学も併願でわせだ…。講義の中で5時間!!時間をこなすだけではだめだ。と何回か言っていた。成果は質と量のかけ算。テスト期間中とか、長く時間をかけてると自分では「よくやったー」で感じになっていた。けど、内容はうすい。当然テストの結果も悪い。本当に内容は大切だと思った。自分のやり方を見直したいと思った。本を分野を問わずたくさん読んだ方がいいと言っていた。本を読むのはどちらかというとききだけど、推理小説や王様ゲーム系の話が好きなので、ビジネスとかは読むの難しいなと思った。けど、もし気が向いたら読んでみようかなと思った。石田先生がいる学科は、初めて聞く学科だった。私の知らない学科がまだまだあるんだなと思った。もう受験になるので、いい加減気合を入れて自分を変えたい。

都留高校の卒業生にこんなにもすごい人がいることに驚いた。東大に行けるぐらいだから、毎日相当勉強していたんだと思う。併願が早稲田ってどれだけ頭が良いんだろう。ただたくさん勉強すればいいだけでなく、質をよくすれば効率よく成績を上げることができる。私は模試の成績があまり良くないので、普段から効率のいい学習をしていき、実力をもっとつけていきたいと思う。また、私は本を全く読まないで、国語の成績が良くない。本を読むことが大切だとおっしゃっていたので、読んでみようと思う。都留高校にはこんなに素晴らしい先輩がいて、その人の話を聞くことができたから、これをチャンスとしてもっと努力していこうと感じた。

目標を立てる。その目標を達成するための手段をしっかりと立てる。今の自分の目標は志望校に受かるべき偏差値まで持っていくことだが、それを達成するために、毎日勉強を欠かさずにやることを手段としてやっていきたい。理系は大学からまた修士の課程までやる人が多いので、そこから就職には英語が必要。英語は苦手教科なので、しっかり勉強したい。今、自分はどことなく自分の成績について、限界を作ってしまったと思う。自分の限界を考えずに、限界を超えるくらいまで自分を高めていきたい。

センター試験本番まで一年を切り、これから勉強に真摯に向き合っていかなければいけなくなってくる今にあのような話を聞くことができたのはありがたかった。私は正直勉強があまり得意ではなく、時期が時期なのにいまいち身が入らずにいたのですが

今回の講座で勉強するモチベーションとの付き合い方や、効率のよい方法が分かり、その気になってきたので、自分のペースで少しずつエンジンをかけていきたいと思う。また、大学に行ってもっと広い世界の中で生活していくことになると、自分の考えをきちんと人に発表することは必要となることが分かったので、これから自分の意思をより強く持って、それを人に自信を持っていえるようにきちんと考えていくようにしていきたいと思う。東大にいったすごい先輩の話聞くことはいい刺激になった。これからもう少し向上心を持っていくようにしたいと思う。

つねに最悪のケースを想定し、本気で橋を作っていたとは全く知らなかった。あえて壊させて全体の破壊をふせぐという発想は地震大国である日本ぐらいしか思いつかない方法だと思った。最近は自分の「手段」の目標化が起こっている気がするので、ここらへんで一度目標をみつめることがひつようかもしれない。

都留高の、山梨北中の、そして山梨市の先輩ということで本当にびっくりした。どうやら山梨市後屋敷地区には今回の石田先生やチューターで来てくれているホリイさんなど、東大の人がひそかに多いのではないかとさえ思った。1日5時間勉強するといのはなかなかできることではないので、すごいと思う。自分も時間がないとか言い訳せずに何とか捻出して頑張らねばならないと思った。成果＝質×量というのはものすごく納得した。自分は量が十分にとれない分、集中してやって質を高めることができればそれ相応の成果が出るのだと思うので、頑張りたい。コンクリートの話はちょっとだけだったけど、とても興味深かった。

今回は東大の准教授の石田先生の話聞いた。都留高出身の方という事で親近感があった。ずっと勉強だけをしていた人だと思ったが、中学の時に吹部でがんばっていて、それなりの成果も残っていてやっぱりすごい人は部活でも勉強でも両方を一生懸命できる人たちだと思った。また、高校での勉強の仕方も、量×質だということを言っていたが、自分自身で手段の目的化に気づいて、勉強の仕方を改めていくことができる事に、そこらへんが他の人とは違うところだと思った。ただ聞いて感心しているだけでは何の意味もないので、聞いた事を自分でも少しはまねできるようにしていきたいと思った。建築の話では壊れてしまっても、その支えてるものが壊れなければ、それで成功という考え方もあるという事を学んだ。

今回は理科に関する講演というより、石田さんの高校時代についての話が主だった。やっ

ぱり東大などの難しい大学に行っている人は、学習時間が自分の比ではないということを改めて感じた。現時点で自分は1時間どころか、勉強しない日すらあるので、真うは学習時間の確保から始めたいと思う。また講演で言っていたような「手段の目的化」に陥ってしまわないように、しっかりとやることを決めて学習していくようにしていきたいと思う。

今こうやって高校へ通っているのも、何のための高校かと考えて、その目標である将来に向けて日々何か向上するようになりたい。まだ、自分もやればできると思ってやりたい。実際数学の模試も1年の頃は(2)まで解けりゃいいやなんて思ってたけど、今は(3)も解かないと、と思う。限界を置くのは成長を自ら止めることなのだと思った。

受験勉強をするときに質を上げる努力をしたい。普段の生活の中に本を読む時間を取り入れて行きたい。本を読むことで知識が増えて勉強になると言っていたので、これからは本をしっかりと読んでいきたい。「20代の時にこの本を読んでいたら」を読んでみようと思った。

今日の講演会は自分のためになることを多く学んだ。1日5時間勉強していたという話には驚いたし、すごいと思った。僕は部活をしていて家につくのが9時ぐらいなので、5時間というのは無理だ。でも「成果は質と量の掛け算」という言葉を聞いた時、これから、量ではなく質を上げていきたいと思った。時間は有限で少ないもの。有効に使ってムダな時間をなくしていきたい。工学系に進もうと思っている僕には興味がある話だった。つくるものは「物」だけでなく「もの」もつくると言っていた。工学には形のない「もの」も作るということを知り、工学系の幅の広さを感じた。工学系の進学を目指して頑張りたい。

専門的な話ではなく、人生論というか、自分のやってきたことなどを聞けてとてもためになった。自分も工学部へ行きたいと考えてはいるが、in fact、具体的な夢も今は定まっておらず、迷走している。しかし、今無理に人生を考える必要もないだろうと思った。そして一番の教訓と言えるべきものを得た。今までは少し得意なところは磨かないで、不得意な面を埋めていくべきだと考えていたが、自分のいい点をさらにのばしていく…長所をのばすというのは野球の例を聞いてたしかになっとくできたし、そうでありたいと考えた。また先輩によるこのような機会を設けてほしいと思う。

今回自分たちの先輩である人から話を聞くことができ、とても貴重な時間となった。自分はいざ試験となって勉強するときに「手段」が「目的」になってしまっているのが気をつけたい。また「迷ったら直感」という言葉は確かに生きていく上では直感も必要だと思うので、今後は直感を頼りにすることしてみたい。自分は教育学部に行きたいと考えているので、その目標に向けて一つ一つの課題をしっかりとこなしていきたい。

僕自身、一時期どれだけ勉強時間を確保してやってもなかなか成績が上がる事がなくて、逆に悪化したりとかっていう時期があって今日話を聞いてその原因はやらなきゃやらなきゃって考えすぎてたところにあったのかなって思った。量をこなしてけばいいやって考えてた時もあったって一日一日でやる事が漠然としすぎていて全く身についていなかったなって反省した。これからはもう少し自分の目標に向かって最低限やっておかなきゃいけないことや自分の得意な面をのばすために必要なことを考えて取り組んでいこうと思った。これからは「量より質」を重視してやっていこうと思う。いままで悩んでいたことが解消できたし、話を聞くことができて良かったと思う。

自分たちと同じ学校で学んだ先輩が、東大で先生をやっているのにはかなりおどろいた。自分も少しして大学に合格したら大学に行くつもりなので大学の関係者の人の話を聞けてよかったです。最近東大では秋入学制度を導入したいとか言う話も聞いていたりしたので、留学生が増えた時にコミュニケーションがとれるように、ある程度英語が話せて理解できるように今のうちから頑張ろうかなと思った。

今日は勉強に関してとても役に立つものであった。実際に経験されたことを細かくおしえてくれ、またそれに対してどんなことがいけなかったのか、どういったことがよかったのかを知ることができ、これからの勉強の仕方に対する方法が考え方がとても変わった。このことから勉強の効率や中身をよくしていこうと考えた。そして時間がかかってもその問題の本質的理解をしていきたい。またよく言われている本を読むこと。これは自分は比較的してきたことだと思っているので、これからも続けていきたい。今日の話はもっと早く聞きたかったです。

東京大学という難関大学を出た人の話だったので、とても珍しく、貴重な機会だと思った。勉強に対する姿勢を学ぶことができた。「手段の目的化」など今まで知らなかった考え方を知った。特に「量×質＝成果」という考え方に納得して夜 12:00 から朝まで勉強していることに驚いた。大学の選び方や自分の学びたい学科を決める方法も知った。大学で研究しているコンクリートの話も非常に分かりやすかった。勉強のやる気が出た。自らに限界を設けないで、勉強していきたい。

今日は現役で大学の先生をやっている話や高校時代の話聞くことができた。石田先生は理系専攻にもかかわらず、地理や歴史にも視野を広げたということを知って、すごいなあと思った。高校時代には 1 日 5 時間勉強していたということで、自分は前々ダメだなと思った。また石田先生は勉強する前に、計画を立てて、効率的な勉強をしていたということを知った。自分は勉強する時に、時間ばかり気にして今まであまり質について意識し

ていなかったなので、これからは自分でしっかり段取りを立てて、質を追求して効率的な勉強をできるようにしていきたい。

講義を通して様々な「考え方」についての話を聞くことができたのがとてもためになった。目標というと私達は〇〇大学に行くこと、というように答えがちだが、本来大学へ行くことは手段であり、目標はその先にあるということを忘れてはいけないのだと思う。「手段」と「目的」を明確に区別することの大切さは生活における様々なことに言えると思うので、忘れないようにしたい。私はまだ将来の目的が見つかっていないように思うので、自分のしたいことを考えながら生活していこうと思う。

考える力をつけよう（自分で）ということが大切なのだと思う。目的と手段を見分けて行動したいと思う。工学部とはなにかよく分からなかったが、「もの作り」の学問としてイメージがわいた。（「もの」といっても「物」だけではない）集中したいことを先にやることも大切だと思う。

私たちの卒業生ということもあり、今回の講演はとても興味がありました。とてもためになったことは、「目的」と「手段」を明確にすることと、成果は質と量のかけ算であるということです。実際に大学受験を経験した人の、勉強のしかたや、コツなどを知ることができ、さらに話を聞きたいと思いました。得た知識を行動に移し、今までの勉強法を改めたいです。

「工学」というのは建築物をつくっていくだけの学問だという意識をいつの間にか持ってしまったような気がした。ただ頑丈に、ただ見た目をよく…などつくる段階のことにしか頭がなかったけれど、金属のさびや、力学など、化学や物理など幅広い知識が必要だと思った。今は自分も将来何をやりたいのかしぼりこめずにいるけど、これからの高校生活の中で、よく考えて決めていきたい。自分の将来を見定めるきっかけに早く出会いたい。今日の講演の中で「長所を伸ばす」という話があったけど、今は得意なことや好きなことに夢中になったり、一生懸命なったりするのもいいかと思った。1日1日を大切に、質のいいものにしていきたい。

先輩の体験を聞いて良かったと思う。私は薬学部に行きたいと思っていますが、なかなか成績が上がらないのであきらめてました。でも、「自分に限界を設けない。」という言葉聞き、ちょっと自信が出てきました。私はよく「手段の目的化」になってしまうので、次からはこの罫にかからないように頑張りたい。私には「勉強を頑張りたいが、なんかやる気がしない」というようにモチベーションが上がらなかったので、この話に出てきてモチベーションのあげ方を一例にしてみたい。工学部の話を聞いて、おもしろそうなところだ

なと思った。(でも、本命は薬学部です)。「社会基盤」と聞くと、難しそうなイメージがありましたが、聞いてみると、人々の、つまり私たちを支えている基盤をつくっているんだな〜。と思った。話を聞いていて、おもしろく、楽しい講義だったと思います。貴重な体験談を聞けて良かったと思いました。このような機会があればまたききたいです。

私は将来どのようになるとかは決めているけど、実際このまま、自分が決めた道がいいのかとか、自分が好きなこともわからない状況だったりもして、色々と不安だけど、講義を聞いて、自分が好きなことを見つけて、趣味が仕事と思えるような将来にしたいと思うし、私は自分の意見をはっきり言ってしまうタイプだけど、自分の意見をもっていてもいいんだなと思えた。将来に向けて、目標に見合ったことをしなければならいと思う。でも、今はまだ受験とかも直視できていないと思うので、プラス思考に考えられるようにし、今までの生活を見直したり、工夫した行動ができればいいなと思った。何よりも物事に興味を持つ事が大事だと勝手に解釈したけど、興味を持つ心がほしいと思うし、すべての始まりは興味を持つことからだなと考えた。講師の先生の生き方とか、考え方とか、すべてにおいて尊敬できるすごい先輩だなと思った。

大学のことはまだまだ分からないし、色々なことを学んで大学を決めたいと思っていたのでたくさんの方がしれてよかったです。自分もけっこう手段の目的化してしまってたと思うので、そうならないようにきおつけセンターまでに成績を上げたいと思います。私は工学部ってなんのことだかよくわかっていなかったので今日知れてよかったです。自分は進路は一応きまっているのですが、勉強が手つかずだったのでこれをきっかけに進めていきたいです。けんきゅうしつには外国人もいるときいておどろきました。こうゆうときに英語が役に立つんですね…。

自分が工学部に行こうとしているから、今回の講義はしっかり聞けたと思う。東京大学に行っているというのにサボるとか幻滅とか意外だった。東大でコンクリートとか堅物なイメージばかりなのに石田さんは何となく少し違う気がした。そのおかげで話を楽しく聞けたし、親近感があつた。ガウディに自分は興味があるけど、色々なトコロで先人の生きた証がいまだに生きていると思ってるつもりだ。将来、先人のモノを自分の考えと組み合わせで新しい物を作り出せるような人になれたらいい。

石田先生のはなしを聞いて、勉強の仕方や勉強に対する姿勢の大切さをより理解することができた。私は勉強したいという気持ちはあるけれど、集中力は続かず、すぐに違うものに目がってしまうので、もし次に話を聞く機会があったら、何時間もどうやったら集中力が続くのか、といことについて詳しく話を聞いていきたい。コンクリート構造物は壊れてはいけないものだから地震にもたえなければいけないと思っていたので、コンピュータ

で地震が起きてもバランスの取れる壊れ方を調べて、それを元に造られているということを知って驚いた。地震をたえるためには、かたさだけではだめということなど、様々なことを知ることができた。

私たちの視点から物事を教えてくれたりしたのでとてもみこみやすい内容だった。中学校から高校への選択肢が、自分が考えている頭のいい学校ばかりだったので、中学生のころから頭がよかったのかなと思った。今、自分が悩んでいることを解決に導くような事も聞けたので、よかった。

石田先生の講演を聞いて、勉強についていままで長い時間をかけても集中できなかったのがどうしたことなのかということが分かった。先生の東大入学の動機が思いのほか単純でそのための努力のしかたもいまの自分のようなものではない。今回の先生の講演から学んだものは、勉強に対する姿勢だと思う。これから考えていくべきことは、部活に全力でとりくみながら少ない勉強時間で質のある学習をするためにはどうすればよいか。今回はそのことについて今一度計画を見直す良い機会となった。

都留高校の先輩の講演だったのでいつもの講演よりも少しフレンドリーで楽しかったです。主に受験に向けてのことや進学や高校でのことを話してくれたので、いつもの講演とは違って自分の進路について考えさせられることが多かったです。また、積極的に質問している人がいて、いつもより良いのだと思った。また今日も自分は質問ができなかったので次はしたいと思う。

今日は石田先生に来ていただいているいろんな話を聞きたかったです。特にコンクリートに関してはまたの機会があれば話を聞いてみたいと思いました。今日聞いた話の中で特に興味深かったのは、“成果は質と量の掛け算だ”という言葉です。確かに課題なんかも時間をかければ終わるが、質（集中）を上げれば早く終わります。こんなことを思いながら、僕はこれからの自分に必要なことだと思いました。質を上げなければならないなと思いました。また、工学といってもいろいろな種類があるのだと思いました。

勉強があまり好きではないので、家庭学習を何時間もすることは難しいです。まずは形から。習慣になるまでしっかりと勉強していきたいと思いました。そのためには何か目標が必要なんだと思います。色々工夫をして、秋の子ない勉強法を見つけたいです。石田さんは准教授になるつもりで東京大学に入ったわけではないと言っていたので、今のうちから色々なことを経験しておいて、成りたい職業を選んでいこうと思いました。卒業生というとても身近な存在の人と話を聞けて、とてもためになりました。東京大学へ行くことは難しいけど、質の高い勉強をして良い大学へ入れるようにしたいです。

感想はまずは都留高校出身で東京大学で准教授をされている先生の話聞くことができとても良かったです。あと先生の高校時代や大学時代の経験についての話で高校時代に 1 日 5 時間勉強をしていた事の話で勉強時間に縛られてしまって「手段の目的化」なってしまったことや勉強の成果は質と量の掛け算でまずは勉強時間をしっかり増やしそしてさらに質を高めていくことが勉強の成果につながるということがわかって良かったです。後は本を読むことについての大切を教えてもらって特に若いうちに本を読むと感受性が高く新しい発見もできるということを教えてもらったので、自分も本を読もうと思いました。今日はとても貴重な話を聞くことができ良かったです。

僕が憧れている東京大学の准教授の方に来てもらえるなんて、めったにないことでしたし、僕にとって役に立つこともお話してくださって、とてもよい機会でした。これからの人生でしていく仕事を決めるためのステップとなる大学での勉強に対して、今までよりもっと、やってみたいという気持ちになりました。また、これからの勉強では、量は自分ができるだけやり、質をもっと上げていきたいと思いました。自分も、将来就きたい職業は決まっていますが、勉強をたくさんして、なれる仕事の幅を広げたいと思います。

今までの講演会は現在の日本の状態や先端技術を学ぶという感じだったが、今回の講演会は主に考え方に関することで、自分の進路に応用できそうなことが多く、とてもためになった。自らの体験談を含めた説明は、とてもわかりやすく、説得力があった。全体を通して、とても興味深い内容で、もっと時間がほしいと強く感じた。機会があるならば、今度は研究内容について詳しく聞きたいと思った。

「受験勉強は、将来来る目標と、その目標を達成するための段取りとマネジメントの方法を学ぶよい手段だ。」という言葉が耳に残った。実際それは、今日の小論文模試問 10 にて、投げかけられている質問の答えとなると思う。また他にも、石田先生が恩師からもらった大切な言葉の数々が、自分の人生の教訓になって、とても良い機会を与えてもらった。1 人のヒーローを探すのもいいと思うが、このような講演

自分たちの先輩（卒業生）にこんなにも素晴らしい仕事をしている人がいて、またその人の話を聞け本当にいい体験であった。また、個人的には自分の住む地区に近いところに暮らしていると知り、身の回りにこういった仕事をしている人がいるのを誇りに思った。自分も現在明確な将来の夢などを持っていないが、講義を聞いて、ほんのささいなことから将来が決まったりすることもあるということを知ったので、これからはいろいろな分野に興味を持ち、視野を広げたいと思った。

僕は宿題は今までやればよかっただと思っていましたが、戦士絵の話で、本当の目的は勉強して身につけることだということを学べた。たしかに僕は時間だけを気にして、質はそんなに気にしていなかった。あと、本をたくさん読むということも注目すべき点だった。僕はマンガばかり読んでいて、本はあまり読んでいなかったの、読みたいと思った。あと、自分は工学部にも興味を持っていたので、土木工学なども話を聞いているとおもしろいなと思った。そして、東大に行っている都留高の先輩の話は説得力があつて、とてもためになった。

今日は成功者の話が聞けて、ためになり、とても良い経験となった。成功者が実際にやってよかったこと、悪かったことをちゃんと見習って自分も成功者になれるようにがんばりたいと思った。自分のためになる言葉もいっぱいあったので、これからその言葉もいっぱいあったので、これからその言葉を思い出していろいろと取りくみたい。

成果は質と量の掛け算というのを聞いてたしかにそのとおりだと思った・今の自分は、量のわりにはあまり密度の濃い内容ではないと思うので、密度をあげたいと思った。自分はあまり本は読まない方なので、これからは少しずつ本を読んで生活に生かしたいと思った。今日の話を聞いて、工学部も進路の一部として考えてみたいと思った。

合宿で1日10時間の勉強をしたと言っていたが、よくそんなに長い時間できるなと思った。研究室に私が思っていたよりも、多かったようで驚きました。工学部は日本がハイ馬手という事実には、少し驚きました。「土木」という名前から自分がイメージしていたものどちがっていいでした。「社会基盤」なんて初めて耳にした単語だったのですごい勉強になりました。

勉強はまずは形から入り、慣れてきたら、質を高めるといういいことを教わった。勉強は一生続く重要なものだを知った。勉強することで得るものもあると分かった。自分は進路希望で工学部を書いたが、どのようなものかは、よく知らなかったの、話を聞けて良かったと思う。毎日五時間も勉強したのはすごいと思った。

自分たちにだんだんと近づいてくる受験や進路選択についての先輩のくわしい、具体的な意見を聞くことができてよかった。今後に多いに生かすことのできる内容だった。東大院の准教授をされているという素晴らしい方で、高校では毎日5時間勉強していたと聞き、流石だと思った。私達もこれからの進路に向け、しっかりと中身も量もある勉強をしたい。また、自分はあまり興味がなかった分野だが、工学についてもいくらか知ることができた。

中学時代では勉強していなかったのに高校に入ったら 5 時間も勉強することが出来るなんてすごいなと思いました。バブル時代は父から聞いたのは会社の話ばかりだったが大人の社会だけでなく高校生にまで影響していたなんて聞いてとてもおどろいた。僕はあまり勉強はしないけど計画が目的になってしまわないような勉強をしたいと思います。東京大学は先生だけでも 2000 人ほどいて、学科もたくさん分かれていた。工学とは物だけでなく眼に見えないものを作るというのに関心を持った。

今日のお話を聞いて自分が今かよっている都留高校の卒業生ということもあり、とても興味を持って講義を聴くことができた。自分も勉強する時は、時間を決めた。その時かんが経過したら終わりといった、「手段の目的化」になってしまった。今日この話を聞いて量よりも質だと改めて思った。あと自己主張はとても大事なんだなと思った。

留学生は日本人日本の質問をしてくる。とりあえず勉強する。自分でいろいろ考えることは大切。本質をとらえる。「目的」と「手段」を区別する。成果は量と質の掛け算。長所を伸ばす。人間は毎年 $\sqrt{2}$ 倍で成長する。自分の頭で考える。他人の考えをきけばいいというものではない。自らに限界をつけない。制約条件を考えぶちこわす。勉強の仕方を高校で学ぶ。学問は楽しい。東大は先生だけで 3000 人ぐらいいる。とても大きい大学である。工学とはもの作り、とても幅のある学問。社会基盤とは、多くの人々が安全で豊かな生活を支える基礎的な基盤。理系や文系をいったりきたりする分野。

成績とか成果を上げるには、ただ単に勉強時間を増やすだけではなく、質も重要である成果は前のことができてからついてくるものである。工学は物を作るものだと思っていたが、実査は「もの」を作るものだった。この「もの」はサービスとか目に見えないものである。目標を達成するためにはしっかりと計画や段取りを立てることが大切である。いい大学へ行くにはそれなりの勉強が大事だと分かった。

東京大学大学院工学系研究科准教授という人がこの都留高校出身というのはすごいことだと思った。ただ勉強するのではなく、成績を上げるためという目的を持って勉強したい。今日してもらったような話の内容は勉強だけでなく、その他の様々なことにも通じるところなので、部活動や普段の生活の中で今回のことをしっかり胸において生活していきたい。今回は、これからの自分の勉強のことなどについて深く考え直すためのよい機会となったのでよかった。

私は、今日の講演を聞いて高校でどう生活するべきか、これから自分たちが経験する大学について話をしていただき、考え方が少し変わりました。高校では勉強を習慣づけていくことが必要だが、目的と手段を区別してより効率のよい勉強にしていく。手段が目的化し

てしまうと成績が上がらなくなってしまうことを知り自分もそういう感じになってきていることに気付かされた。私はこれから向かっていく将来にこれからどのように勉強していくか、生活していくかが明確にしていきたいとこの講演を聞いて感じる事ができた。

今までの講師とは全く別種の講義で、今回のものは社会人として生きていく中で必要なものを話していただけた。これからの進路選択においてとても参考となる話だった。自分がどういう仕事をしているではなくて、どういう事をするという視点だったのでわかりやすく、自分に対してあてはめやすかった。東京大学の教授というだけあって、説得力のある話だった。高校の時の勉強の仕方等は自分でも真似をしていきたい。迷ったときには直感を働かせるというのは自分も頷けるものがあった。水を吸収するコンクリートはどういうものなのか？

理系に行くにしても文系の知識が必要だと知った。『手段の目的化』は日常生活で頻繁に起きていて、人間の継続力が弱いことが分かった。目標を成し遂げるためには誘惑に勝たなければいけないとわかった。今の時代を生き抜くためには、しっかりと自分の意見をいえることが大切で日本人は周りとの調和を大事にしようとするが、世界では自己発言力が求められているとわかった。論理的な能力を高めるためにも、常に「なぜ」と思い理由を考えることが大切だとわかった。各教科は一見異なるものののように見えるが、実際は深く結びついてできているとわかった。高校時代に勉強の習慣を身につけなければならず、大人になってからではできないということが分かった。

今日の講演は、自分の今後の将来にも関係がある話で非常に興味を持つことができた。説明もすごい分かりやすく普段の生活や勉強の根本などいつもの自分の勉強を直していかなければいけないことがたくさんあった。また東大の学部の話では社会基盤の話ではちょっと私には難しかったが普段は聞くことのないことが聞けたのでよかった。また機会があればぜひ聞きたい。

石田先生の高校時代の話がきけてよかった。自分と重ねてとても学ぶところや参考にしたいと思う部分が多かった。ただ何となく勉強をするだけでは「手段の目的化」になってしまうのだと気付くことができた。あと「20代の時にこの本に出会っていたら」を手にとってみたいと思った・大学の研究室での話もとても気になった。外国人に自分の国である日本について説明したり主張したりできるようになりたいなあとと思った。よくイメージがわからなかった工学部や社会基盤についても話が聞けてよかった。もっと理系っぽいものだと思っていたら、歴史や文化なども網羅しなければならないものだと知って驚いた。

学ぶことに対しての考え方や、生き方について様々な良い言葉を教えてもらいました。今

日の講演を活かして勉強を頑張っていきたいです。一番良いなと思ったのは仕事が趣味だということでした。仕事が趣味ならすごく人生が楽しいだろうなあと思いました。話の中にあったようにこれから思っている将来とは違う方向に行くかもしれないけど、私も、仕事が趣味といえるような職業に就きたいです。また、分野を問わず本を沢山読んでいたということなので、本を読むのはあまり好きではなかったけど、様々な本を読んでいけたら良いと思います。

成果は量と質の掛け算という話がとても印象的でした。部活の顧問にも同じようなことを言われて、密度の濃い時間を過ごささいと言われた覚えがあります。とてもそのとおりでと思いました。また、将来何をやるべきなのかを明確に定めた方が良くともおっしゃっていたので、自分なりの目標をしっかりと持ちたいと思いました。高校生活を大事にしてこれから続く未来のためにも勉強の仕方をしっかりと学んでいきたいと思いました。

今日の講演会を聞いて、勉強というものは頭のよしあしは関係ないものだと分かり、自分にも可能性があるものだと分かり、とてもうれしかった。勉強の成果は量と質があわさってなるものだと知り、自分はまず量のことを考えるよりも質を高めることを考えなければならぬと分かった。そして、人間という生き物は一生の勉強は続ける生き物であるため、受験勉強はただ大学に入るためだけでなく、その一生の勉強の仕方を学ぶ上でも大切なものだとわかった。だから、自分も勉強しなければならないと思った。そして、工学部というものは日本が最初につくったものだと知った。僕は自分の行こうと思っている学部がの本によってつくられたとわかって、驚き、うれしさとその学部に行きたいという気持ちが高まった。日本は今元気がないので、自分が勉強して、日本の役に少しでもよいからななだと思った。

都留高の先輩ということもあり、非常にフレンドリーに講演して頂き、今後の学校生活に生かしていこうと思える点が多かった。石田先生の話聞いて思ったのは、広範囲、多分野に渡り、物事への関心や興味を持っていらっしゃるように感じた。そういった姿勢は勉強においても持つべきもので、今後、今以上に多分野に渡る興味や関心を自分も持っていきたいと思う。

これから、自分たちがしていかなければならないかを具体的に教えてくれ、少しだがやることが見えてきた。まずは本を読むことを進めていきたい。いろいろな本を読んで損はない。かの池上さんはたくさん本を読み知識を身につけ現代の二宮金次郎と呼ばれるほどになっている。よし、本を読もう。

東京大学という日本一の大学の卒業生で奇人なのかと思っていたら、意外とジョーダンも

ふまえる普通の人でびっくりしました。逆におかたいイメージの見方が少し変わった危害します。東大に進学しているので大きな努力のもとに過ごしていたからか、努力の下かや生き方についての良い言葉を聞いて考え方が少し変わった気がしました。実績があり努力したあの人の言葉だからこそより重みを感じた。自分はまだ夢が決まっていない（夢がないのではなく）。そろそろ自分の人生を考えて後悔しないよう精進したい。

今僕は日々の学校生活について悩んでいて、今日この講義を聞いて、勉強における考え方や基本的な意義を改めて知ることができた。よく自分を見失ってしまう事があるのだが、メモに書いたように大切なことを聞いたり、見たりすることでやる気が出てきた。石田先生は高校のとき、5時間勉強するという目標があったが、手段の目的化により質について見失ってしまったと言っていた。たしかに僕も時間を決めてそれが過ぎたら終えてしまっていて、質は全く意識していない。今回教訓を聞けたので、質について意識してみようと思った。また東京大学について学部の話を知れたので、とても今後に役立つものと思った。さらに学習意欲を向上させて、さらに勉強に励みたい。

「手段の目的化」という罠ということを知って、私もその罠にはまっていたことに気付いた。3時間やればよいと思ってだらだらと勉強をしているときがあったので、それは大きなミスだったのだろう。成果は量と質の掛け算というのもそうだろうと思った。たとえどんなにたくさんやっても、質がうすっぺらいと $9 \times 1 = 9$ みたいになかなしいことになってしまう。 9×1 なら 3×3 と同じ分なので量だけにかたよらず、質にもこだわっていこうと思った。

私も今はまだ明確な目標がなくただ漠然としている状態だ。目標がないから勉強に身が入らず、とりあえずやっとうぐらいな感じだ。しかし今日の講演会を聞いて目標はないけれどとりあえず本をたくさん読もうと思った。それと勉強の量を増すことを目的にしないで、勉強の質を上げて成績を上げようと思う。

今回「高校生みなさんへ」という講座で本当に役に立った。手段の目的化というものを初めてきいたが、確かにその通りだと思った。他にもいろいろな言葉があったが、どれもすごくわかりやすく、そして的確であった。いろいろなことを知れたが自分がそれらを高校1年で聞いて遅いのか早いのかはわからないが知ることができよかった。今日の講演は本当に役に立ったし、すごくいい体験になった。ぜひまたこのような機会をもうけてほしいと思った。

今日の講演会を聞いて勉強へ対する新しい価値観と意欲が湧いた。石田先生が念を押して言っていた読書の重要性についても理解できた。なので自分も図書館へ行って新しい本を借りてみようと思った。今、私がしている勉強は量も質も、不足している。どちらかが多

くても片方が 0 ならば意味がないので、今日からの勉強に対する姿勢をより良いものにしていきたい。工学への興味もできた。もっと難しい学部かと思っていたが、「多くの人たちのための『もの』作り」というコンセプトを知り素晴らしいと思った。

自分も最近勉強することが目的となっていて、成績を上げることが目的になっていませんでした。これから勉強するときには「目的」と「手段」を明確に区別していきたいです。自分は部活に入っていてあまり時間をとることが出来ないけれど、質を上げていきたいです。自分はどこの大学に行きたいか迷っていますが、先生と同じ工学部に行きたいと思っているので、それに向けて勉強できればいいなと思っています。本もいろいろなジャンルの本を読んでいきたいと思いました。講演ありがとうございました。

工学部の話が聞けると思っていたら、将来いく予定の工学部の話が聞けて自分の進路を決める上でとても参考になりました。「わかったこと、気づいたこと」でも書いた通り、結果が出ている人はそれなりの努力をしていると分かったので次からの勉強で生かしていきたいと思いました。

東大の准教授なんていうのは自分とは違い、はるかかなたの存在だと思っていたが、こうして都留高の卒業生にいて実際に話を聞けたというのは僕にとって大きなことだった。元からとんでもない天才だったのではなくて、自分の努力であそこまでの高みに行ったというのは僕のこれからの生活に大きな刺激を与えた。本を多く読むことや目的を見失わないことなどすぐにためせる話が多くあったのでじっせんしていきたい。

目的化手段化のところは重要だと思った。いくら時間をかけていっても質が悪ければ意味がないというように、普段の勉強もただこなすだけではなく、質も大事にしてやりたいと思った。普段から本を読んでいないので読めるものからニュース、新聞からも読み始めたいと思った。

今回は都留高の大先輩ということで、高校生活についてなどもくわしく聞けてとても良かった。1日5時間の家庭学習というのを今の私と比べると、まったく違うし、今の私はすごく自分に甘いのだなと思った。また、話で成果は質と量の掛け算ということにとっても納得しました。時間いっぱい学習しても質がなければ意味がないと思った。自分の限界を作ってしまうことはだめなことだったと感じた。限界を作ってしまうと気持ちが高まらないし、高い目標をたてることが、自分の気持ちを高めていくものだからと思った。私はまだ「手段の目的化」という穴に入り込んではいないが、これから、何かに向かって取り組む時、手段と目的を明確に区別していくことが大切だと思った。とても参考になる話で、次の機会もぜひ聞きたいです。

高校生活について先輩の話の貴重な体験談を聞くことができてよかった。日本も国際化が進んでいるし、世の中も複雑になっているので、学校の勉強はもちろん、時事や歴史、世界との関係について自ら知っていく必要があると感じた。「工学」の分野は何となく「作る」というイメージはあったけれど、街づくりや環境なども含むとても幅広い分野だと知って驚いた。今まではあまり考えたことがなかったけれど、人の生活にとっても身近で、興味を持った。サイエンスツアーでは土木研究所へ行って見たこともあったし、もっと知りたいと思った。今までよく知らなかった工学系の話や、大学のこととともに、勉強以外ののちに立つことがたくさんわかった。自分のこれからにも今回の話を活かしていきたいと思った。

今日の講演会を通して、私は勉強に対しても大学に対しても考え方が変わりました。しっかり勉強について目的をもって手段にとらわれず自分自身のために精一杯頑張っていきたいと思います。また、大学の学部もとても複雑だったけど、すごく多くの科目があり分野があることを知りました。これからは、私も石原さんのように目標をしっかり決めて常に上を目指して頑張っていきたいです。今、勉強できることにも感謝して一生懸命いい高校生活を築いていきたいです。

これからいろいろ生かせることがあった。自分もとりあえず進学するために勉強をしている所があって、人との出会いや新しいことへの挑戦をすることで新しい道が開けてくることを知った。だから自分に合っていないと思うことであっても、失敗をおそれずに、挑戦していきたいと思った。成果は質×量というのを聞いて部活で忙しいから、質を高めていこうと思った。部活などにも質を高めていこうと考えた。勉強は大事だけど、それが目的でないということを聞いて、勉強をすることがすべてじゃないんだなと思うことが出来た。自分自身で考える力をつける。長所をのばす。自らに限界を作らないなど、これからすぐにやっていくことのできることを、やっていこうと思った。都留高の卒業生の話聞くことができて、進路、将来についての参考になった。

東京大学の人の話を聞いて、一番思ったことは、やっぱりできる人は努力をしているんだなと思った。毎日 5h を目標にしていたことは凄い継続力だと思う。私はもし、5h ときめていてもだらだらしてしまう気がする。石田さんの話を聞いて、たくさん心に残った言葉があって、心に深く感じた。「ピンチはチャンス」「チャンスはピンチ」、「成果は質と量の掛け算」。特に 2 つめの「成果は量と質の掛け算」は 1 つ 0 であるとどんなにもう一つをがんばっても 0 になる。これがとても納得できた。石田さんの話を聞いて、私は今の自分ではダメだなと思った。自分に厳しくて、甘えないようにしたい。そして本をひまがなくても少しずつ読んでいきたいと思った。本当にすばらしい講座だった。

私は心に強く残ったのが「心がけること」です。これは、わかってはいるんだけど、できないことでした。勉強では「時間がない。どうせできないからてきとうでいいや。」と思うことが多々ありました。でも、5時間の学習を「質」をかえてみて10時間分にするというのをきいて、かんたんではないが、これが身につけば、すごいだろうと思いました。今後の学習に取り入れていきたいと思った。そして、自ら限界をもうけないようにしたいと思う。今度はお仕事についてお話をききたいです。

都留高校出身ということで自分も努力すればこの学校でも東京大学に行けるんだとわかった。最近本を全く読んでいないので少しずつ本を読みたいと思った。石田さんが自分の経験を例にして「手段の目的化」について話してくれて、自分もそのような失敗をしないようにしたいと思った。さらに今の勉強は大学入試だけのためでなく、これから続いていく勉強の練習なんだと教えてもらって「あーたしかにそうだ」と思えた。このことを忘れずに目標を決めて学習したい。大事なことは先にやる方がよいと教えてくれたので、重要なものは先にしたいと思う。

今日は技術的なことというより、これからをどう生きるか、生きていく上で大切なことを教わった。いつもと違ってまた新鮮だった。まず、本を読むこと。本には書いた人の想いがつまっていて、新たな発見がある。それを積極的に取り入れること。また、出会い旗一説にすること。今まで出会ってきた中で、無駄な出会いは絶対なかった。これから先もすてきな出会いがあると信じてます。そして、自分でよく考えること・目標を持つこと。私は目標を持つことが苦手です。この講演を聞いて、小さなことでも良いから目標にしてみようと思いました。1番印象に残ったことは「目的」と「手段」のちがいを知ること。手段はあくまでも手段でしかないので、それを目的と思ってはいけない。今日はゆっくり考えて、またこれから先に活かせるようにしたいです。

何のために勉強するのかということで将来自分がやりたいことを叶えるために勉強をするということがわかった。私は大学に行きたいとはあまり思わないがどの道に進むにしても勉強しておけば何もそんはないと思った。これから自分のペースで勉強を進めていきたい。あと、本も少しずつ読んでいきたい。

今日の講演は、人生について役に立つことや学べることが多く、生き方を見直すきっかけになった。また、勉強をしていく上で大切なことを知ることができた。1番印象に残ったことは、「成果は量と質の掛け算」ということがあり、これから心がけていこうと思った。今まで、自分も「手段の目的化」になっていた部分があったので、注意して、質を高められるようにしたい。とても分かりやすくて、納得させられることがたくさんあった。今日の

講演を聞いて、今後のためになることをたくさん知ることができたと、学ぶことができた。また機会があったら、石田先生の講演を聞きたい。

私たちは今、高校生活を送っていて、実際に経験した話をきくと、勉強はやっぱりしなければならないものだなと思った。だが、勉強が「手段の目的化」にならないように目標や夢へ向かって取り組んでいきたいと思った。私たちは今もこれからもまだまだ成長できるので、できるときに後悔しないように挑戦して成長していきたい。今は、自分の将来のためにどこの大学で何をしたいかという進路をしっかりと考えて、自分の一番の道に進みたいと思った。また、本を読んでいくことも大切にしたいと思った。今は、大変なこともたくさんあるが、自分の目標を決め、少しでも楽しいことを見つけて高校生活を充実したものにしていきたい。講演では、同じ都留高での生活や、私たちもいつかは来る大学生活という身近な話が聞けてとても役立った。教えていただいたことを大切にして、これからもさまざまなことを頑張っていきたい。

ちょうど自分も勉強のことで悩んでいたのも石田先生の話がとても身にしみた。量×質ということはなるほどと思えた。夏の宿泊学習会で得た自信を自分はその後にいかせなかった。今日の話をもう一度よく考えて、今後の自分の学習の仕方を見直していきたい。石田先生の言っていた「本をたくさん読む」ということを実行していきたいと思った。前にキャリア教育で来た先生も同じようなことを言っていた。中学からあまり本を読まなくなってしまったのだが、本は将来的にも役に立つと思うのでゆっくりと読んでいきたい。今日は時間が少なくて土木工学科についての事があまり聞けなかったのも機会があったらぜひ聞いてみたい。自分も「土木」と聞いて全然違うものを想像していたので「もの作り」と聞いて興味を持った。

都留高の先輩、そして東大の教授の方だということで、とても興味深く聞いた。お話をきいていると毎日 5 時間勉強することや、勉強を頑張る、ということを実り前のように話していて、今の自分と比べてものすごい努力をしていたんだなとおどろいた。「手段の目的化」は自分にも当てはまっている。課題など、こなすだけになっていたのも、今日のお話を聞いて、改善しようと思えた。やはり東大などのレベルの高い大学に行きたいのであれば、それ相応の努力をしなければいけないんだ、と思った。また、今まで社会基盤などは聞いたこともなく、工学といえば機械とかかな？という程度にしか知らなかったが、知れておもしろかった。文系、理系にこだわらず、全てのことに精一杯取り組みれば、この再起の可能性は広がっていくんだな、と思えたので、今、自分の目の前のことを頑張ろうと思う。貴重なお話が聞けて本当に良かったです。

最初におどろいたことが高校 1 年生の時に、5 時間毎日勉強をしていた。ということ。私は、

まだまだだなと思った。まずはできることからやろうと思うので、少しずつ本を読んでいこうと思います。部活の事にも、あてはまる「成果は量と質のかけざん。」ということをし、意識していきたいと思います。部活に入っているぶん、時間が少なくなるので、勉強の質を上げていこうと思います。電車で 15 分ほど、乗るので、その時間も無駄にはせず、勉強したり、本を読んだりしていきたいです。今日は本当に勉強になりました。今後、今日のことを生かして生活していこうと思います。今日はほんとうにありがとうございました。また、続きを聞きたいので、話に来てくれたら嬉しいです。

今日の講演を聞いて、勉強は大学へ入学するためにするものではないことを改めて感じた。石田先生は、勉強は目標を達成するための段取り、マネジメント力を鍛える。とおっしゃっていたが、その考えは私は今まで思ってもみなかったもので、とても新しい考えで勉強するためのモチベーションが上がった。また、成果とは量と質の掛け算とおっしゃっていたが、とても新しい発見だった。私はどちらかというとき量ばかり意識していたけど、質を意識して勉強してみようと思った。また、今回のテーマで“土木”という分野だったので、あまり知らない分野について知ることができて良い機会だった。最後に、高校で学ぶことは大切で役立つとおっしゃっていたので、よく勉強しておこうと思った。今回の公演では役立つことをたくさん聞くことができて良かった。

勉強は時間を多くやろうと思っていただけ、それは手段の目的化だったのだと思った。時間を多くやることを目的ではないという風に“目的”と“手段”を名家うに区別して、これから勉強に取り組みたい。普段あまり本を読まないから毎日 10 分でも 20 分でも読むようにして、多くの発見ができたらいと思う。外国人にとって日本の事が説明できないというのは日本人として恥ずかしいことであるからきちんと学んでいきたいと思う。本だけでなく体験するという必要だとも思うから、伝統・文化にふれて日本を再確認して外国人にも教えられたらと思った。自分はずも“もうダメ”とか“できない”などと言っで自分に限界をもうけがちだから思考を変えて広い視野でものを見て、限界を超えていけるような自分になれたらいいなとも思った。また長所をのばすという事も自分には必要だとも思うからそんな所も実行できたらいと思う。今日の講演は本当に自分の参考になったと思う。これを参考にして、色々なことに積極的に活動できたらとも思った。